



2023年10月2日

各位

上場会社名 株式会社ダブルエー  
代表者名 代表取締役 肖俊偉  
(コード番号: 7683 東証グロース)  
問合せ先 取締役 丁 蘊  
(TEL. 03-5423-3601)

## 2024年1月期 第2四半期 決算に関する質疑応答集

当社の2024年1月期第2四半期決算に関して、発表以降に株主、投資家などの方々からいただいたお問い合わせ、感想についてその内容と回答について、以下の通りお知らせいたします。なお、本開示は、市場参加者の皆様のご理解を一層深めることを目的に当社が自主的に実施するものであります。

決算内容の詳細につきましては、末尾<ご参考>に記載しております決算短信及び決算補足説明資料をご覧ください。

**Q1：営業利益が前年同期と比べ194.2%増の大幅な増益になった理由を教えてください。**

A：大幅な増益になった理由としましては、売上高の増加に伴い利益が増加しました。中でも高価格帯の卑弥呼ブランドは利益率が高く増益に寄与しました。また、春に実施したテレビCMの放映に伴う費用を前期より抑えたことで広告宣伝費が減少しました。さらに、販管費の店舗運営に係る固定比率が高いために、売上高の増加率以上に営業利益等が増加しました。

**Q2：月次売上高が大変好調な推移のようですが、その要因を教えてください。**

A：コロナによる行動制限が解除されたことにより、駅ビルや郊外ショッピングモールなどの商業施設にお客様が戻ってきたことで、店舗の売上が回復いたしました。また、卑弥呼に関しましては従来のパンプス以外に、新たに商品展開をしたレインシューズ、スニーカー、サンダルなどが大変好調で、売上増に寄与しています。

**Q 3 : 現在の状況はコロナによる行動制限の反動による好業績とも考えられるのですが、このまま売上好調は続くと考えていますか？**

A : 今期は商業施設などにお客様が戻ってきたとはいえ、コロナ前以上に客数が増えたというわけではありません。したがって、今期が反動による一時的な売上増とは考えておりません。当社は店舗販売とオンライン販売の両方で施策をおこなうことで、コロナ禍でも確実に売上を増加させることができたことと自負しております。今後も魅力的な店舗展開や他社との提携による全国展開をおこなっていき、また、オンラインサイトにおきましては自社だけではなくトッドエステのような他社サイトでの売上も増えてきておりますので、引き続き、売上拡大を目指してまいります。

**Q 4 : 売上高・営業利益ともに通期の予想を上方修正されていますが、修正された見通しに対する下振れリスク要因はありますか？**

A : 通期予想につきましては、この上半期の市況が大きく変化しない場合に達成できる予想数値としております。したがって、売上高につきましては下振れリスクは少ないと考えているのですが、営業利益につきましては現在以上の円安が続くことがリスクとして考えられます。円安になりますと原価率が悪化しますので、それに伴いまして営業利益が悪化するリスクがあります。ただしその場合においても、当社は徹底的な現場主義により、工場から売場までを直接繋げる仕組みを確立しておりますので、商品企画・生産・品質管理・販売までをワンストップでコントロールすることで、円安の影響を最小限に抑えることが可能であると考えております。

**Q 5 : 今回の上方修正について、売上高に比べ、利益の修正幅が大きいのと思いますが、期初の計画に対し、良くなった点について教えてください。**

A : 当社は高価格帯および中価格帯商品を強化をすることで、営業利益率を高めていくことを戦略の1つとしています。今期につきましては、今までおこなってきた施策により、高価格帯の卑弥呼の売れ行きが良くなりました。また、オンライン販売も順調で、またドットエステでの販売開始などもあり、営業利益率が改善してきていることから、利益の修正幅が大きくなりました。

**Q 6 : 通期予想で純利益も大幅に改善しているのですが、配当を変更する予定はありますか？**

A : 当社は株式の分割や、株主優待の拡充など、より多くの皆様に中長期的に当社株式を保有していただけるような施策をおこなってきております。増配に関しましても、今後、中長期的な成長に向けての社内留保とのバランスを鑑みて、検討をおこなってまいります。

**Q 7：店舗の拡大を中期計画の戦略の1つとして掲げていましたが、2Qの期間においては、ダブルユー単体の実店舗の店舗数が増えていないように見受けられます。今後の出店計画を教えてください。**

A：店舗数につきましては、今期1QにMISCH MASHの実店舗を17店舗承継したこともあり、既に都市部の好立地の場所には店舗を多く展開できていると考えておりますので、今期は既にある店舗をさらに魅力的にし、売上を拡大させていくことに重きをおきたいと考えております。また、全国網をもつ「Right-on」様、「ASBee」様の店舗にて当社製品をお取り扱いいただけるようになってきていることや、オンライン販売比率も順調に増加してきていることから、今後も急激な店舗数拡大はおこなわずに、好立地な場所を選びながら店舗拡大をしていきたいと考えております。

**Q 8：中期経営計画を発表された後の通期予想上方修正なのですが、中期計画も上方修正する計画はありますか？**

A：6月に発表した中期経営計画は今期2Qの状況を加味した上で作成しましたので、中期経営計画で発表した2026年1月期の目標達成に向けて、今後も努力してまいります。

**Q 9：事業取得をされたMISCH MASHの状況はいかがでしょうか？**

A：MISCH MASCHにつきましては、当社主力ブランドORiental TRafficとのコラボ商品を7月から開始するなどの施策を開始しまして、手ごたえを感じております。秋・冬の商品が動き出す今期後半で、単月黒字化を目指しております。

<ご参考>

- ・2024年1月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）2023年9月14日公表
- ・2024年1月期第2四半期決算補足説明資料 2023年9月19日公表

以上

免責事項

- ・本資料は、当社の企業説明、決算説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・本資料は、2023年9月14日公表の2024年1月期第2四半期決算の内容に関して頂戴したお問合せ、感想などの内容に基づき、一部表現を修正して公表するものであります。
- ・本資料に記載される情報は、いわゆる見通し情報を含んでおり、当該情報は本資料公表時点における当社の見解であり、将来に関する記述につきましては、今後様々な要因により変動する可能性があることをご承知おきください。